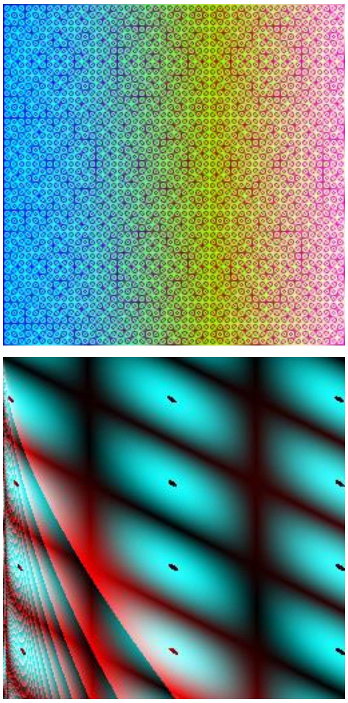
進化的アート

～生物の進化を利用した画像生成～



好みの模様に進化させた
進化的アートの例

目標

「進化計算」は生物の進化の仕組みを情報処理に応用した手法です。ユーザの好みに応じた2次元パターン画像を作成する進化的アートを題材に、この原理を学びます。

学べること

- 生物進化と情報科学の結びつき
- 進化によるプログラム自動生成の仕組み
- 計算機との対話による好みの画像生成

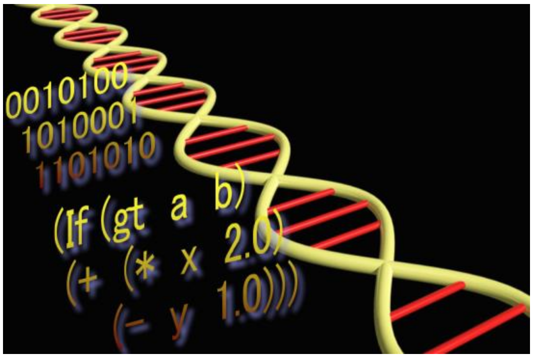
実施日・内容

❖ 第１回：180分程度
  - 進化計算の基礎に関する講義
  - 進化的アートの体験

❖ 第２回：180分程度
  - システムの改良
（プログラム要素の変更実験）
  - 好みの画像の作成実験と評価

❖ 第３回：180分程度
  - 発表会準備

※実施日は参加者と相談の上、決定します。



染色体の交叉や突然変異の仕組みをデザインに応用します

担当教員

知能工学専攻　原章、串田淳一